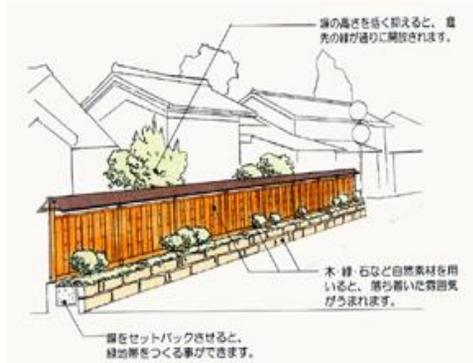


# まちづくり行政

## ■街並み環境の整備

- ・ 県内の市町村では、まちづくりのルールのもと、建物の外壁の素材や色彩、屋根の形状に一定のルールを定めている地域があります。
- ・ 美しい街並みの維持・向上には時間がかかりますが、地域住民や市町村と一緒に地域に住環境や街並み景観の改善に取り組んでいます。



## ■中心市街地の活性化

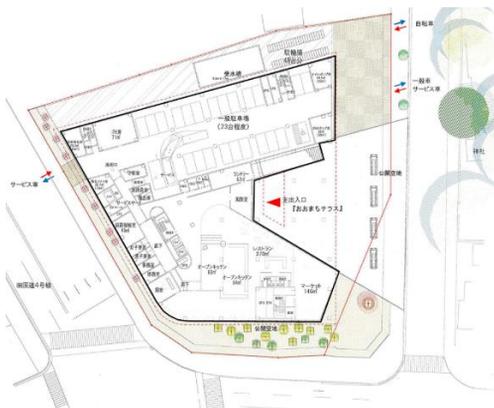
- ・ 現在、地域の顔となる中心市街地は、住宅、公共施設、大規模商業施設の郊外移転等により著しく衰退しています。
- ・ まちの「顔」の喪失は、地域への愛着が薄れ、地域の活力が減退するリスクがあります。
- ・ このため、県、市町村、地域住民、商工団体等が市街地再開発事業等の手法を用いて、老朽化した建物の更新に加え、道路や広場等の公共施設整備や既存商店街の活性化など、賑わい再生に向けた多様な「まちづくり」に取り組んでいます。



従前建物



完成予想



### 郡山市大町二丁目地区 地域生活拠点型再開発事業

- ・ 構造：鉄筋コンクリート造
- ・ 敷地面積：約5,233㎡
- ・ 延床面積：約15,030㎡
- ・ 階数：地上7階
- ・ 高さ：約30.8m
- ・ 用途：地産地消マーケット、多世代交流センター  
乳児院、多世代型賃貸住宅（46戸）

# まちづくり行政

## ■美しい建築物や街並みに対する県民意識の高揚

- ・周辺環境と調和し、景観上優れた建築物や、地域の資源を活用し良質で優れた住宅等を顕彰し、その成果を広く周知することで、美しい街並みの形成を促進しています。



第39回福島県建築文化賞「きとね」



第23回ふくしま住宅建築賞(最優秀賞)



表彰式

## ■県内の魅力的な建築物の情報を発信

- ・地域の資源・宝である、またはそうなり得る建築物に光を当て、若者が建築業界に興味・憧れを抱くことで本県の建築業界の将来的な担い手を確保し、その持続的発展を図るため、県内の魅力的で評価の高い近・現代建築物の情報を親しみやすいイラストを交えて発信しています。



ふくしま三つ星建築

福島県建築文化賞を受賞した作品を含め、福島県が誇る魅力的な建築物について、

宮沢洋氏が福島県内の建築物をイラストでレポートします。

宮沢氏が「どうしても描きたい！」建築物も

紹介していきます。どうぞお楽しみください！



宮沢 洋(みやざわひろし)氏

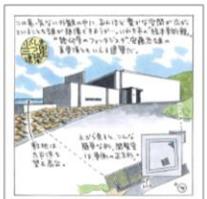
画作家、編集者、BUNGA NET 代表兼編集長。1967年東京生まれ。1990年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、日経BP社入社。日経アーキテクチュア編集部に配属。2016年～19年まで日経アーキテクチュア編集長。2020年2月に独立。2020年4月から磯達雄とOfficeBungaを共同主宰。2021年5月、株式会社ブンガネット(BUNGA NETInc.)を設立。著書に『建築者建築図鑑』『日本の水族館五十三次』など



福島県立郡山支援学校 (2002)



三春交流館「まほら」(2003)



絵本美術館「まどのそののそのまわこう」(2004)



猪苗代のギャラリー (2013)



はじまりの美術館 (2014)



喜多方市本庁舎 (2015)